長久手市　文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアビジョン

令和8年3月

長久手市

目次

序　はじめに..... 1

1　エリアの概要..... 2

2　本エリアの位置づけ..... 3

3　本エリアの現状.....5

4　今後の施設の在り方..... 7

5　市民ニーズ..... 9

6　これからの本エリア～より魅力的な文化交流拠点の形成に向けて～.....11

7　施設連携の考え方.....12

8　本エリアで生まれる理想のシーン..... 13

参考資料..... 参-1

序　はじめに

長久手市では、立地適正化計画に基づき、誰にとっても居心地の良い居場所となる都市空間の形成や都市における拠点の特性を踏まえた公共施設の維持・充実に取り組んでいます。

本ビジョンは、文化交流拠点として位置づけられている文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて、一体的かつ魅力あふれる芸術・文化活動の拠点の形成と、さらなる交流促進を図ることを目的に策定するものです。

各施設及びエリアの現状や市民ニーズ等を踏まえ、今後のエリアの検討にあたって踏まえるべき方針や施設連携の考え方、ならびにエリアで生まれる理想のシーンを整理し、「文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアビジョン」として文化交流拠点の将来構想をまとめました。

また、本ビジョンは、都市再生特別措置法（平成14年法律第22号）に基づく都市再生整備計画*の策定や、立地適正化計画に基づく事業に対する個別支援制度である都市構造再編集中支援事業（国庫補助金）の活用、さらに文化交流拠点に立地する各施設の魅力向上に向けたビジョンとして活用していきます。

＊都市再生整備計画とは、市町村が抱えている「まちの課題」を解決するために、都市再生特別措置法（平成14年法律第22号）に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域において、当該公共公益施設の整備方針等を定めた計画です。

1 エリアの概要

本エリアは、長久手市都市計画マスタープラン（令和2年3月策定）において、文化交流拠点に位置づけられており、「長久手市文化の家」、「長久手市中央図書館」、「桧ケ根公園」の3つの施設から構成されています。

愛知高速交通東部丘陵線（リニモ）はなみずき通駅から徒歩約10分の場所で、本市都市計画道路高根線（図書館通り）沿いに位置しており、交通利便性の高いエリアとなっています。

また、市内の高台に位置し、エリア北側には香流川が流れています。



資料：地図データ@2025


長久手市文化の家


長久手市中央図書館


桧ケ根公園

		長久手市文化の家	長久手市中央図書館	桧ケ根公園
概要	用途地域（容積率/建蔽率）	第１種住居地域（200%/60%）		
	建築年度（築年数）	1998 年(27 年)	1992 年(33 年)	1994 年（31 年）※一部供用 2006 年（19 年）※全面供用
	延床面積	17,488 ㎡	4,201 ㎡	16,000 ㎡※敷地面積
	駐車可能台数	302 台	115 台	
	運営時間	平日土日祝 9 時～22 時	平日 9 時～17 時（土日祝は 19 時まで）	－

2 本エリアの位置づけ

長久手市都市計画マスタープラン（令和2年3月策定）及び長久手市立地適正化計画（令和6年3月策定）における本エリアの位置づけは以下のとおり整理されています。

◇POINT（要点）

文化交流拠点として、文化活動を通じた交流機能の充実や誰にとっても居心地の良い居場所となることが目指されています。

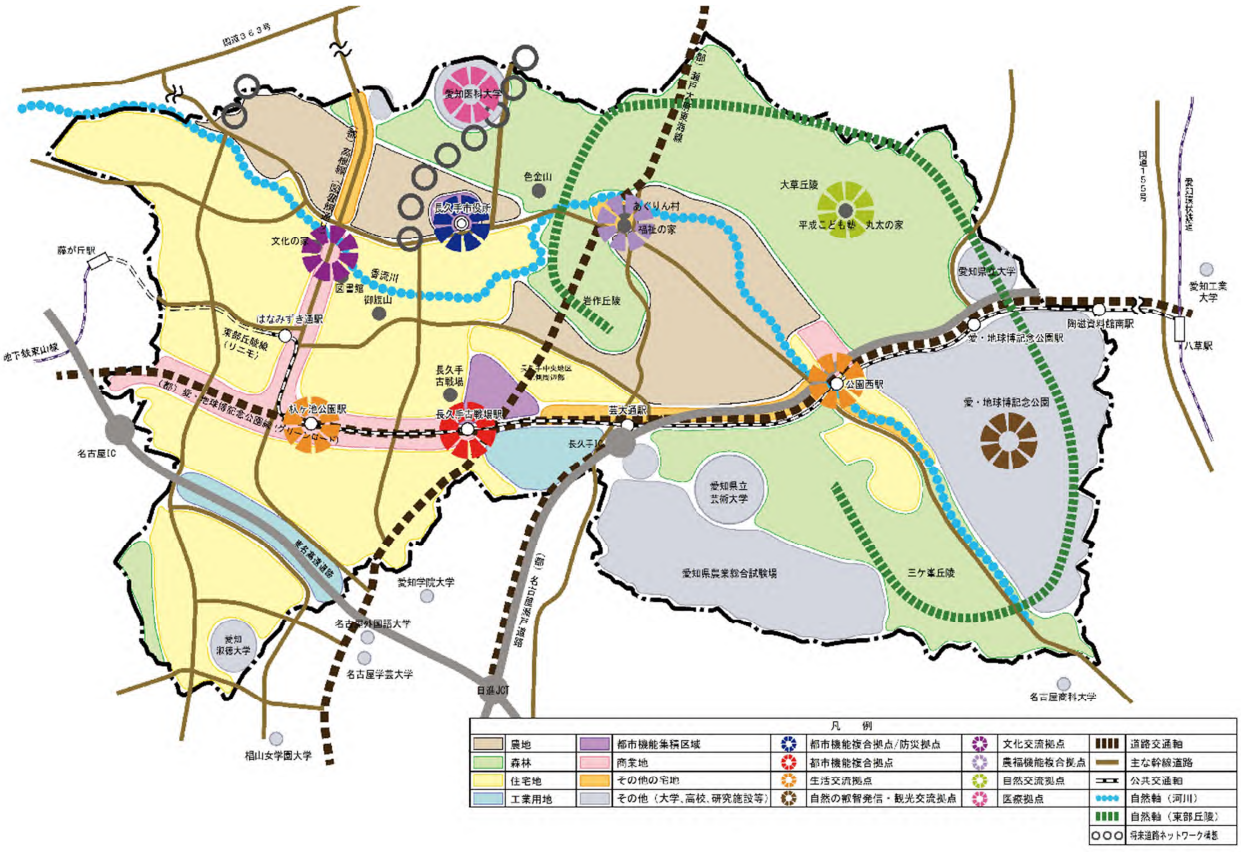
（1）長久手市都市計画マスタープラン（令和２年３月策定）

■全体構想（基本理念）

文化的な市民生活の創造：本市の歴史的な風土や自然条件、社会的条件等を生かした文化的な市民生活を創造します。

■将来都市構造

文化交流拠点：芸術、文化活動の拠点である文化の家や、知識、情報の集積と市民の学びの拠点である中央図書館の周辺を「文化交流拠点」と位置付け、文化面からの交流機能の充実を目指します。

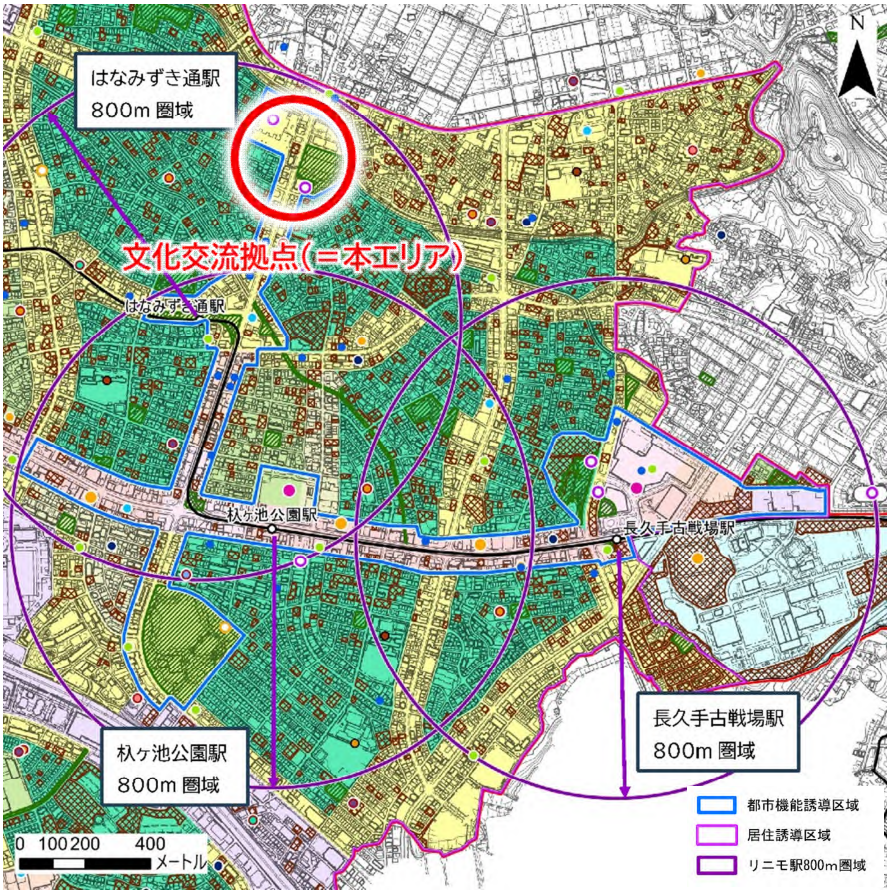


【図表 ： 将来都市構造図】

（２）長久手市立地適正化計画（令和６年３月策定）

■都市機能誘導区域の設定

都市計画マスタープランの将来都市構造図に位置づけた拠点の形成を図るために、長久手古戦場・杁ヶ池公園・はなみずき通駅ゾーンについては、都市機能複合拠点・生活交流拠点及び文化交流拠点を徒歩で回遊可能な一体のゾーンとして都市機能誘導区域を設定することとします。



【図表 ： 都市機能誘導区域（長久手古戦場・杁ヶ池公園・はなみずき通駅ゾーン)】

■誘導施設の設定

長久手市文化の家及び長久手市中央図書館については、にぎわい創出・活性化に活用することが考えられる公共施設として、将来にわたっておおむね現在の位置で維持することを目的に誘導施設として設定します。

■誘導施策

・文化交流拠点に立地する長久手市文化の家、長久手市中央図書館は、市民の交流を促進する場として、引き続き施設の維持・充実を図ります。
・長久手市文化の家、長久手市中央図書館を中心としたエリアで、一体的な事業の創出や活用を図り、子どもから高齢者まで気軽に交流でき、幅広い知識や豊かな感性を育む機会を提供するエリアとして、より魅力的な拠点形成を目指します。

3 本エリアの現状

利用状況や建物状況等、本エリアにおける各施設の現状を以下のとおり整理します。

◇POINT(要点)

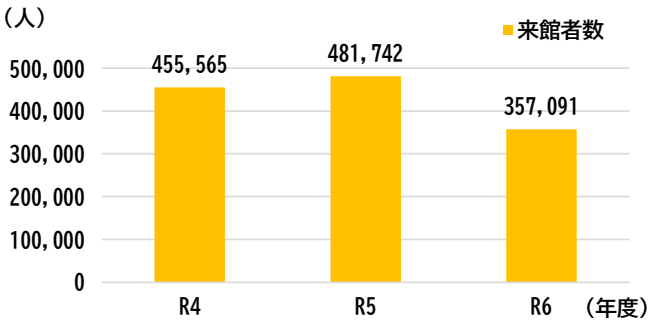
各施設の利用が活発な一方で、建物の老朽化への対応やエリアとして一体的な活用が必要です。

（1）安定した高稼働の継続

■長久手市文化の家

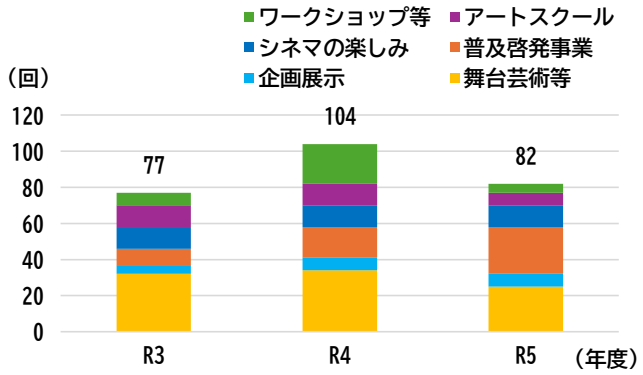
長久手市文化の家においては、多数の自主事業の展開により、来館者数が高水準で推移しています。

また、令和5年度の諸室の稼働状況は非常に高い水準となっており、施設の利用が活発であることがうかがえます。



※令和６年度は改修工事により、
開館期間が４月１日から１２月２８日までとなっています。

【図表 ： 長久手市文化の家の来館者数の推移】



【図表 ： 長久手市文化の家の自主事業の事業数】

ホールの利用状況

（単位：日）

部屋名	森のホール	風のホール
面積（㎡）	1300(711席)	900(292席)
稼働率	86.8%	89.5%

アートリビングの利用状況

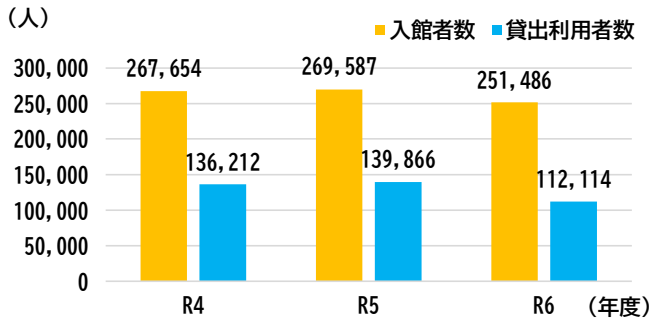
部屋名	光のホール	展示室	舞踊室	音楽室	小音楽室	音楽スタジオ	美術室	食文化室	多目的室	暗室
面積（㎡）	100(80席)	85	165	109.5	18	18.5	68	88	25.4	10
稼働率	70.7%	82.7%	99.7%	99.7%	99.7%	99.7%	91.5%	71.7%	100.0%	12.7%
部屋名	講義室1	講義室2	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	会議室5	和室1	和室2	
面積（㎡）	40	40	17.6	17.6	11.5	9.2	9.2	6畳	8畳	
稼働率	97.4%	98.0%	99.3%	99.7%	100.0%	98.4%	98.7%	90.9%	89.3%	

【図表 ： 長久手市文化の家の稼働率（令和５年度）】

■長久手市中央図書館

長久手市中央図書館の入館者数と貸出利用者数の推移をみると、令和6年度に若干の減少は見られるものの、全体としてほぼ横ばいの傾向にあります。

また、入館者に対する貸出利用者の割合は概ね5割程度であり、図書館を本の貸出だけでなく、読書や学習などの居場所として利用する来館者が多いことが推察されます。



【図表 ： 長久手市中央図書館の入館者数・貸出利用者数の推移】

（２）施設間の連携不足

各施設でイベント等が実施されているものの、エリアとして一体的な活用はなされていない状況となっています。

（３）老朽化の進行

長久手市文化の家、長久手市中央図書館は建築後30年近くが経過しており、建物と大型設備等の老朽化が進行しています。

4　今後の施設の在り方

今後の文化施設や図書館の在り方について、国で検討が進められている事項や近年の取組事例を踏まえ、以下のとおり整理します。

◇POINT（要点）
施設における役割の高度化や、他分野施設との連携の強化が求められています。

（１）国の検討動向

文化施設は芸術文化の振興および市民福祉の向上を目的とし、図書館は市民の教養、調査研究、レクリエーションなどに資することで、読書活動の活性化を目的として、それぞれ公共施設として重要な役割を担っています。

価値観の多様化や情報技術の発展といった社会変容に対応するためには、文化施設や図書館は従来の役割を維持するだけでなく、付加価値の向上を図ることが求められており、その役割は一層高度化しています。

また、将来的な人口減少を見据え、市民の質の高い暮らしを支えるためには、他分野の施設との連携を強化し、日常的に多くの市民が利用できる施設としての役割も期待されています。

■文化施設部会の展望と今後の文化施設の在り方について

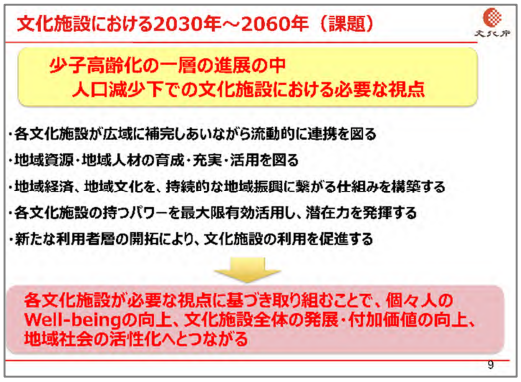
2030～2060年における文化施設（文化的活動が行われうる施設）の在り方について、文化施設部会（文化施設の振興に関する事項を調査・審議するため、文化審議会の下に設置された部会）において検討が進められています。

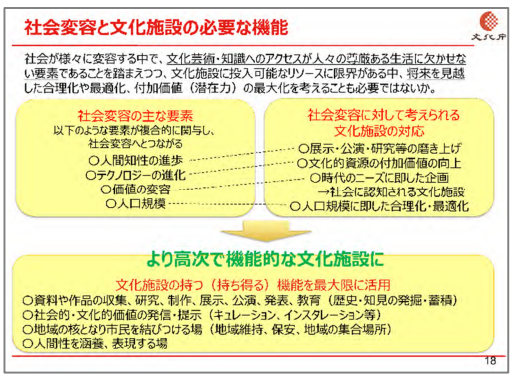
同部会では、人間知性の進歩、テクノロジーの進化、価値の変容、人口規模の変化といった社会変容に対応する文化施設の在り方として、以下のような視点が議論されています。

・展示・公園・研究等の磨き上げ
・文化的資源の付加価値の向上
・時代のニーズに即した企画（社会に認知される文化施設）
・人口規模に即した合理化・最適化

これらの対応を通じて、文化施設をより高次で機能的な施設へと展開することが求められます。

また、人口減少等の社会変容に対応しつつ、文化施設の取組を維持・高度化する上で、文化施設と他分野施設間でのネットワーク連携は有効な対応策であることが想定されています。





出典：文化施設部会の展望と今後の文化施設の在り方について（文化庁令和7年3月）

（２）近年の取組事例

■武蔵野プレイス（東京都）

図書館、生涯学習センター、市民活動センター、青少年センター等のこれまでの公共施設の類型を超えて、複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報（知識や経験）を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会（まち）の活性化を深められるような活動支援型の公共施設となっています。

「滞在型図書館」、「生涯学習支援機能」、「市民活動支援機能」、「青少年活動支援機能」の四位一体で、交流ネットワークの活性化、地域社会の魅力向上、市民生活の向上に貢献しています。





出典：文化施設部会の展望と今後の文化施設の在り方について（文化庁令和7年3月）

■千代田区立日比谷図書文化館（東京都）

「図書館機能」を基盤に、「ミュージアム機能」、「文化活動・交流機能」、「アカデミー機能」の4つの機能を融合した複合施設として、館内資料をはじめ、千代田区の文化資源等幅広い資料情報資源を相乗的・一体的に活用し提供されています。

・図書館機能

時節に応じた様々なテーマの図書展示のほか、館内施設で開催される特別展示や講演会等の関連図書展示を行うことで、館内の回遊性を高めるとともに、補完する情報を提供し、利用者の学びを深めています。

・文化活動・交流機能

文化的な環境のもとでリラックスできる場として、貸出手続きをせずに図書館資料が閲覧できるレストランやカフェを設けています。





出典：令和元年度公共図書館事例集（文部科学省）

5 市民ニーズ

令和7年度に実施したワークショップの意見やアイデアから、本エリアの強みや今後の期待を以下のとおり整理します。

◇POINT(要点)
エリア内の各施設（屋内・屋外空間）をつないだ一体的な活用が市民からも期待されています。

（1）ワークショップの概要

「より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園について考えてみませんか？」をテーマに、令和7年7月～8月にワークショップを3回開催しました。

回	日程	テーマ	参加者数
第１回	7月１２日（土）	この場所で過ごす”とっておきの時間“を語ろう！	２４名
第２回	7月２１日（月）	この場所で、叶えてみたい“ふだん＋α”と“すこし未来のわたしの居場所”	２４名
第３回	８月２日（土）	“すこし未来のこれからの場”を描こう！	１６名

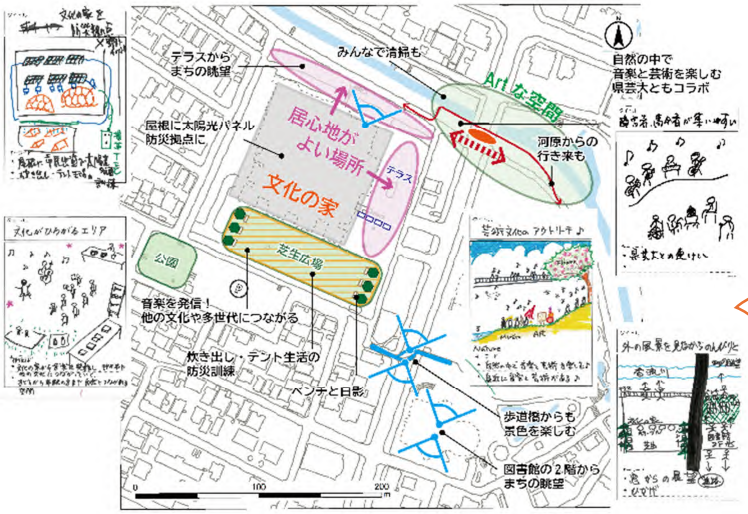
（2）ワークショップの意見やアイデア

強みとして、各施設で魅力的なイベントが実施されていることや周辺を流れる香流川に関する意見が多く見られました。また、今後の期待として、桧ケ根公園と図書館や、文化の家と香流川を含む緑道など、エリア内の各施設をつないで一体的に活用することが求められています。

	強み	今後の期待
交流	・各施設で、おはなし会やマルシェといった魅力的なイベントが実施されている。	・親子で楽しめる空間があると良い。 ・エリアを一体的につなぐ屋外広場があると良い。 ・長久手市内のハブとなると良い。
散策・回遊性	・香流川沿いの遊歩道が散策によい。	・公園や緑道と一体的に活用したい。 ・香流川を活かしたエリア内の動線を確保してほしい。 ・ウォーキングコースがあると良い。
文化・学び	・文化事業が多い。	・長久手市を知れる展示スペースがあると良い。 ・香流川等を含めて文化イベントが広がると良い。 ・有事の際の避難場所として活用したい。（防災イベント等）
景観・憩い	・歩道橋からの景観がよい。 ・香流川沿いの景色がきれい。	

（2）ワークショップで描かれたエリアの将来像

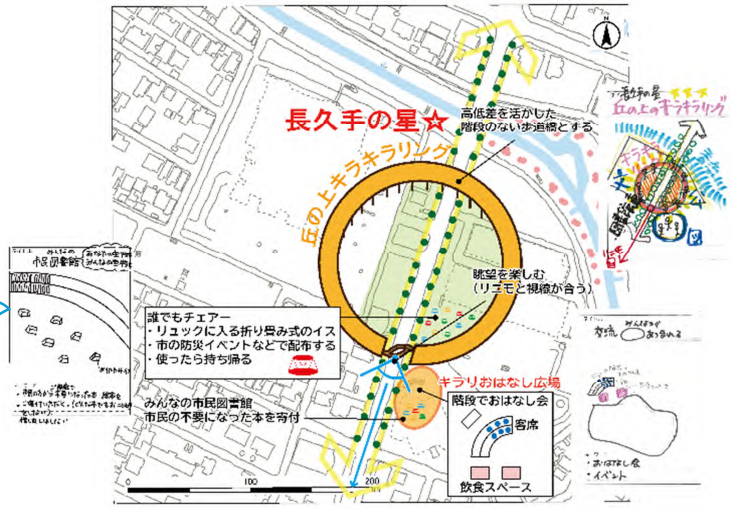
■文化の家グループ【タイトル：音楽・風景・防災】



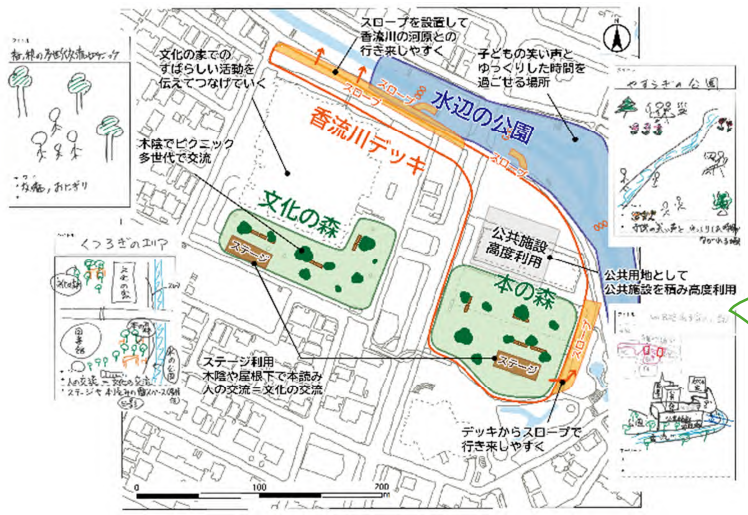
- 音楽や芸術によるにじみ出しがあり、エリアの**文化振興と交流の拠点**とする。
- **多世代が自然と繋がる**ことができる施設とする。
- 窓からの景色を眺めながら**のんびりすごせる施設**とする。
- 障がい者、高齢者の方でも集まりやすい施設とする。
- 屋上に太陽光発電施設を設置する
- 炊き出しやテント生活の訓練を行う。

■中央図書館グループ【タイトル：丘の上キラキラプラン】

- エリア全体を長久手の星として位置づけ、道路で分断されている「文化の家」「中央図書館」「桧ケ根公園」を「キラキラリング（円形の歩道）」で**繋ぐ**。
- 道路や歩道橋から見える位置にある図書館前の階段広場を「キラリおはなし広場」と名付けイベントを行う。
- リュックで持ち運びできる折り畳み式のイスを配布する。
- 不要な本を寄付できる本棚を設ける。
- イベントとしてお話会、紙芝居、人形劇などを行う。



■桧ケ根公園グループ【タイトル：香流川デッキ】



- 木陰や水辺の自然空間を活用して**多世代が集まる**ことができるピクニックを行う。
- デッキで中央図書館と文化の家を**つなぎ**、香流川にもアクセスしやすい足場を設ける。
- 文化の家や図書館で行われているイベントを継続して行う。
- 下水処理場の上に公共施設を積む。
- 子供が遊ぶことができる水辺を整備する。

6 これからの本エリア～より魅力的な文化交流拠点の形成に向けて～

「2 本エリアの位置づけ」から「5 市民ニーズ」までの整理を踏まえ、今後の本エリアの検討にあたって踏まえるべき方針を整理し、より魅力的な文化交流拠点の形成に向けて期待される3つの視点を示します。

2 本エリアの位置づけ

文化交流拠点として、文化活動を通じた交流機能の充実や誰にとっても居心地の良い居場所となることが目指されています。

3 本エリアの現状

各施設の利用が活発な一方で、建物の老朽化への対応やエリアとして一体的な活用が必要です。

4 今後の施設の在り方

施設における役割の高度化や、他分野との連携の強化が求められています。

5 市民ニーズ

エリア内の各施設（屋内・屋外空間）をつないだ一体的な活用が市民からも期待されています。

これからの本エリア ～より魅力的な文化交流拠点の形成に向けて～

文化を通じて すべての世代がつながる 学びと交流の拠点

＝ 期待される3つの視点 ＝

- **交流** 子どもから高齢者まで、世代を超えて市民同士が交流できること
- **学び** 市民の幅広い知識と豊かな感性が育まれること
- **憩い** 誰もが気軽に訪れることができる「居場所」となること

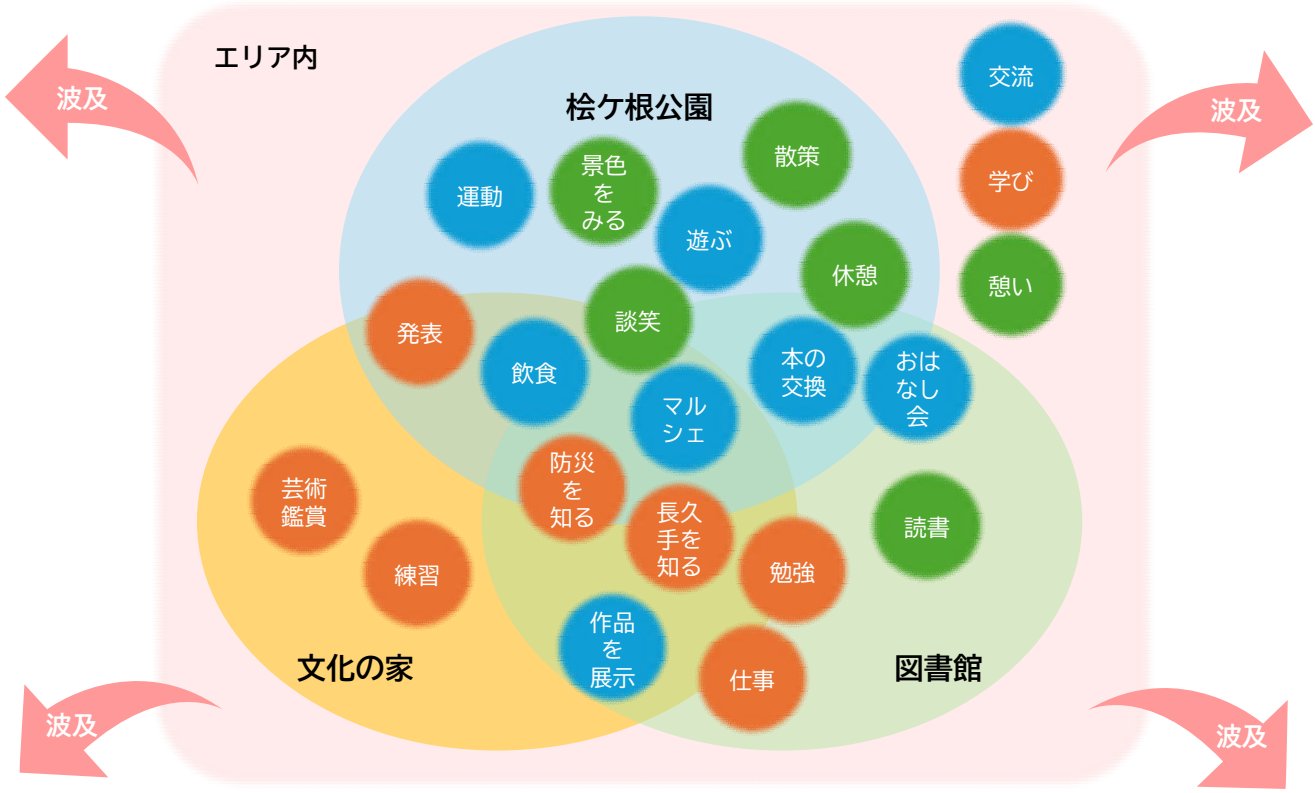
7　施設連携の考え方

「6　これからの本エリア～より魅力的な文化交流拠点の形成に向けて～」を踏まえ、より魅力的な文化交流拠点の形成に向けた、施設連携の考え方を以下のとおり整理します。

◇POINT(要点)
各施設が相互に連携・融合しながら、多様な繋がりを築くことを目指します。

各施設(長久手市文化の家、長久手市中央図書館、桧ケ根公園)それぞれが1つの役割を担うだけでなく、それぞれの特性を生かして相互に連携･融合しながら、本エリアが「文化を通じて　すべての世代がつながる　学びと交流の拠点」となることを目指します。

またエリア内での多様な繋がりが、エリア外のヒト･モノ･コトと繋がり、波及していくことも期待されます。



8 本エリアで生まれる理想のシーン

本ビジョンを踏まえ、交流・学び・憩いの観点から、本エリアで生まれる理想のシーンを以下のとおり整理します。

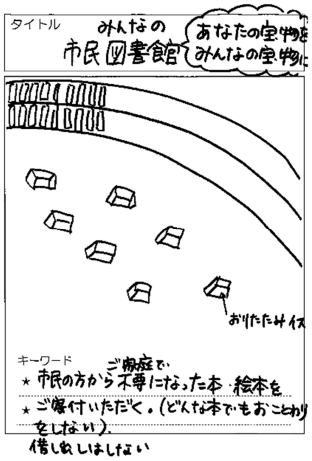
※各イラストは、本エリアで生まれる公共空間の利活用を可視化したものです。

（1）理想のシーン【交流・学び・憩いの場面】



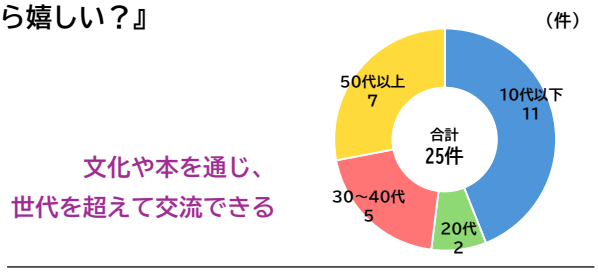
ワークショップ

『“すこし未来の”本エリアでどんなことができる？』

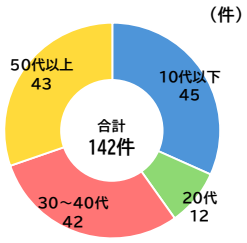


アンケート

『“すこし未来の”本エリアでどんなことができたら嬉しい？』

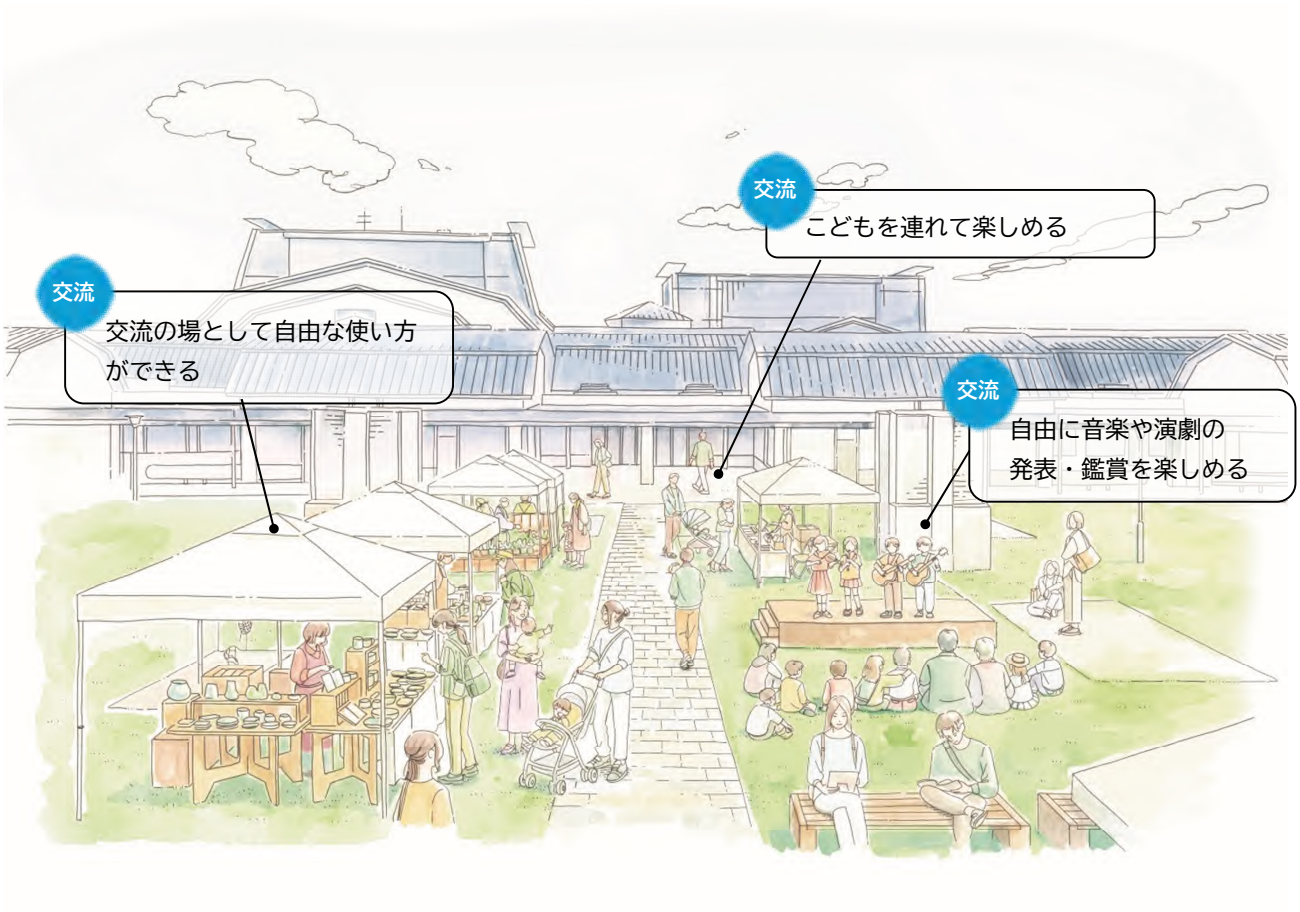


文化や本を通じ、
世代を超えて交流できる



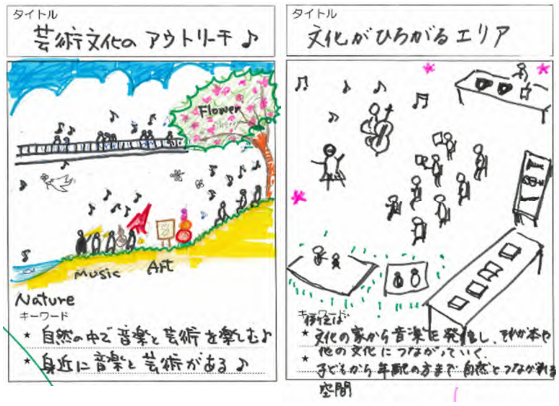
用事がなくても憩い・
くつろぐことができる

（2）理想のシーン【交流の場面】



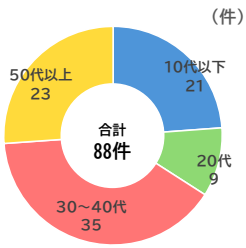
ワークショップ

『“すこし未来の”本エリアでどんなことができる？』

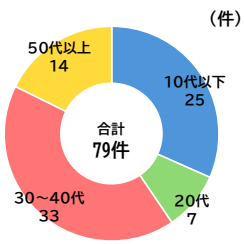


アンケート

『“すこし未来の”本エリアでどんなことができたら嬉しい？』



交流の場として
自由な使い方
（イベント等）ができる



自由に音楽や演劇の
発表や鑑賞を楽しめる

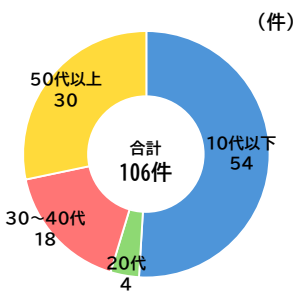
（3）理想のシーン【学び・憩いの場面】



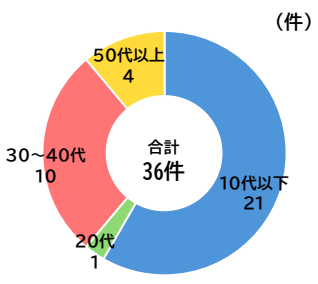
アンケート

『“すこし未来の”本エリアでどんなことができたら嬉しい？』

静かに勉強や仕事
（テレワーク等）ができる



市民が制作した作品の
展示を楽しめる



（4）理想のシーン【交流・学び・憩いの場面】

交流
こどもを連れて楽しめる





交流 憩い 学び
余暇や趣味を楽しめる





憩い
気軽に憩うことができる

ワークショップ

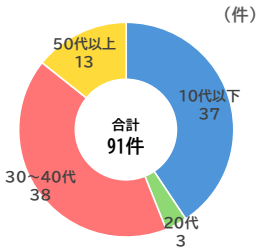
『“すこし未来の”本エリアでどんなことができる？』

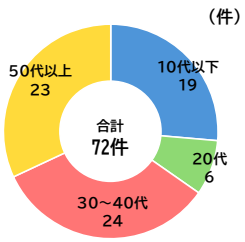


アンケート

『“すこし未来の”本エリアでどんなことができたら嬉しい？』

こども（孫）を連れて遊んだり、学んだり、楽しめる





余暇や趣味を楽しめる

参考資料

（1）市民ワークショップ

都市計画マスタープランにおいて、「文化交流拠点」として位置づけられる、文化の家、中央図書館、桧ケ根公園エリアを、より一体的で、より魅力的なエリアとするためにワークショップを開催しました。

■ワークショップタイトル

より魅力的な、文化の家、中央図書館、桧ケ根公園エリアについて考えてみませんか？

■実施概要

回	日時	テーマ	参加者数
第１回	令和７年７月１２日（土） １３：３０～１５：００	この場所で過ごす “とっておきの時間”を語ろう	２４名
第２回	令和７年７月２１日（月・祝） １０：００～１１：３０	この場所で、叶えてみたい“ふだん＋α”と“すこし未来のわたしの居場所”	２４名
第３回	令和７年８月２日（土） １０：００～１１：３０	“すこし未来のこれからの場”を描こう	１６名









長久手市文化交流拠点の構想づくりに向けたワークショップ

NEWS LETTER

“より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考えてみませんか？”

７月１２日（土）の午後、長久手市中央図書館で、より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考える場としてワークショップを開催しました。当日はお子さんも含め、総勢２４名にご参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！

DAY1テーマ　：　この場所で過ごす”とっておきの時間”を語ろう！

1. オープニング

長久手市の担当者より、本エリアが都市計画上「文化交流拠点」として位置づけられていると説明しました。さらに、各施設がより連携を図ることで、さらに魅力向上を目指すことが出来るポテンシャルのあるエリアであることが示され、ワークショップを通じ、「文化交流拠点」の概念について、ともに検討していきたい想いについて説明しました。





2. グループワーク

第１回では、“この場所で過ごすとっておきの時間を語ろう！”をテーマに、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園を含むエリアに来た時に嬉しかったこと、印象に残ったシーン、特に好きな場所などについて、語り合いました。グループワーク後には、グループごとに発表し、全体で共有しました。

グループA

- ●文化の家
  - ・ジブリの上映が楽しめた
  - ・アートフェスティバルがある
  - ・イベント発表会が楽しい
- ●中央図書館
  - ・読み聞かせが楽しい
- ●桧ケ根公園・香流川
  - ・遊具が楽しい
  - ・風が気持ちいい場所
  - ・魚とりができる
- ●エリア全体
  - ・花火がきれい

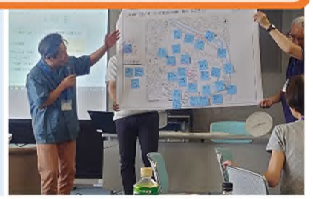
図書館・桧ケ根公園は夏、香流川は春、文化の家は秋に楽しめる場所！家族で集まれる場所になるといいな



グループB

- ●文化の家
  - ・アートフェスティバル大好き
  - ・イベント発表会が楽しい
  - ・車が無い時の駐車場は犬が喜ぶ
- ●桧ケ根公園・香流川
  - ・バスケットボール最高
  - ・香流川の桜並木
- ●エリア全体
  - ・ゆったりすごせる
  - ・歩道橋からの御嶽山などの風景がキレイ
  - ・遊歩道の並木がキレイ

一人でも、犬の散歩でも、お年寄りも、若者も来れる場所！いろいろなところに繋がっていくハブの地域。この強みを活かせるといいな。





グループC

- ●文化の家
  - ・県芸のオペラがすごい！
  - ・ベンチで語り合う時間
  - ・コンサート＆ビールタイム
- ●桧ケ根公園・香流川
  - ・散歩が好き
- ●中央図書館
  - ・カフェで食事するとき
  - ・おはなし会で子どもの笑顔がみれるとき
- ●エリア全体
  - ・景観がきれい

高台で自然も多く、景観がよい！自由に飲食ができて楽しめる場になるともっと魅力的になる！エリア全体で木陰があるスペースを設ければ、自然と交流が生まれるのでは。



グループD

- ●文化の家
  - ・フリーマーケット（作家さん）の品を楽しむ
  - ・横の坂道をランニング
- ●桧ケ根公園・香流川
  - ・桜並木がステキ
  - ・ランニングコースによい
- ●図書館
  - ・こどもや孫と利用
  - ・ギャラリーで展示会
- ●エリア全体
  - ・歩道橋からの景色がキレイ

遊び、景色から場所によって異なる魅力がある。学びという面でも得るところがあるエリア！イベントや学びをエリア一体となって何かできるといいな！

3. まとめ

各グループの発表後、吉村先生（日本福祉大学教授）から、総括をいただきました。



ワークショップでいろいろな人と出会うことで、「こんなことやってみたい！」という思いがうまれていくというところが面白いと感じています。
まちのなかで、「こんなことができそう」という妄想をもっと広げてみると、自然体かつ日常に溶け込んだ面白いこと・できそうなことは実はたくさんあると思います。
本日皆さんから出していただいた思いを次回はもう一歩先に、一緒に高めていけることを期待しています。



【発行】
長久手市都市計画課
【TEL】
0561-56-0622
【E-mail】
keikaku@nagakute.aichi.jp

長久手市文化交流拠点の構想づくりに向けたワークショップ

NEWS LETTER

“より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考えてみませんか？”

７月２１日（月）の午前、長久手市中央図書館で、より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考える場としてワークショップを開催しました。当日は総勢24名にご参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！

DAY２テーマ ： この場所で、叶えてみたい “ふだん＋α” と “すこし未来のわたしの居場所”

1. オープニング＆ふりかえり





長久手市の担当者より、オープニングのあいさつ、当日の流れを説明しました。

その後、ニュースレターを見ながら、第１回のふりかえりを行いました。 さらに、7/12～7/20の期間に、第１回ワークショップと同様のテーマ（「この場所で過ごす“とっておきの時間”を語ろう」）で、図書館に模造紙を掲示し、利用者の意見を募集した結果を共有しました。主なものとして、文化の家周辺は“イベントが楽しい”、香流川沿いは“桜や自然が豊か”、桧ケ根公園は“遊具がおすすめ”、図書館は“いろいろな本が借りられる”など様々な意見が集まりました。

ふりかえりを踏まえ、第2回では＋αの要素について語り合っていただくことを説明しました。

2. 話題提供 ～アイデアを生み出すヒント～



吉村さん（日本福祉大学教授）より、
「自分（たち）で叶えたいアイデア（やってみたい）出しのヒント」として、公共空間を使った様々な活動の事例をスライドで紹介していただきました。
駅前空間の活用やアーバンピクニック、移動図書館など、ワクワクする事例がたくさんありました！

東海市の太田川駅前は、平日は誰もいない。もったいないと思い、実験的に駅前ピクニックをやってみた。そうすることで、人が出会い、話すきっかけになり、日常風景がずいぶん変わる。





3. グループワーク

第２回では、「この場所で、叶えてみたい “ふだん＋α” と “すこし未来のわたしの居場所”」をテーマに、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園を含むエリアで叶えたい過ごし方・やってみたいことなどについて、語り合いました。グループワーク後には、グループごとに発表し、全体で共有しました。

グループA

イベント時はNバスを活用して、他のエリアともうまくつながるといいな。また、普段外出されない方も来れるようなイベントが開催されるといい！
季節のいい時には、公園と図書館の交流やエリア内で回遊できる場所があるといいな。

日常でも非日常でも過ごせるエリアに！

◇**イベントがあるとき**
・図書館で本の交換会/大人も楽しめる絵本を置く
・フリーマーケット/野外サイエンス実験場
・防災イベントで炊き出しの練習（まちキャンプ）

◇**気候の良い日**
・橋の下の活用（アートイベントなど）/スポーツイベント（バスケ）
・テント・イスを置いて自由に交流会
・本を公園に持ち出して読書/回遊できる場所

◇**非常時**
・施設の屋根で太陽光発電
・市民の避難所となる防災拠点





グループB

四季折々の楽しめる空間づくり（＝整備）×イベントを興す（＝動）
２つを掛け合わせて市民に発信することが重要！

四季折々の楽しみ方ができる場所に！/動と静の楽しみ方ができる場所に！

◇**春**
・香流川のサクラを飲食しながら楽しむ
・桧ケ根公園や遊歩道で花を楽しみ、緑に親しむ

◇**夏**
・香流川を高い場所から眺めて楽しむ

◇**秋**
・紅葉の時にバーベキューを楽しむ
・お絵描き大会やスタンプラリーを楽しむ

◇**冬**
・香流川のカモを観察して楽しむ
・図書館やその周辺でもっと本に親しむ





グループC

自然と交流がうまれる！誰でも気軽にフラッと来れる！

◇晴れの日
・図書館＆文化の家をまたいだ屋外広場でマルシェ
・随時読み聞かせ（公園でも文化の家でも）＋おしゃべり交流



◇雨の日
・気軽に参加できる講座が定期的に開催している

◇夏＆冬
・涼しい＆暖かい屋内空間でぼーっと過ごせる

◇いつでも
・絵本作家と子どもたちで絵本づくり
・学生たちが勉強している（どこでも）



キッチンカー、カフェ、マルシェなどが行われ、自然と人が集まってこれば、本の読み聞かせや演奏会などができる。
魅力的な屋外空間を文化の家と図書館を中心につくっていってはどうか。
図書館と文化の家を結ぶ動線として香流川沿いも活用できるとよい！

いろいろな時間・季節・気候でも過ごせる場所になってほしい。
カフェでゆっくりしたり、踊ったり、合戦したり、、、いろいろな過ごし方が長い時間できるといいな。

グループD

一人でゆっくり、みんなでイベント！静と動のつかい方

◇ゆったりした「静」のつかい方
・ハンモックに寝ながら読書
・ゆったりソファでうたたね
・テラスカフェでゆっくり読書とティータイム



◇エリア全体で運動・イベント「動」のつかい方
・人間長久手合戦
・図書館通りを歩行者天国にしてみんなでダンス
・広い空間でみんなでラジオ体操
・室内でもぬいぐるみのかくれんぼ、図書館でお泊り会



グループE

交通の改善・子育て世代が住みやすいエリアに！

◇春
・写真撮影イベント
・桧ケ根公園で多世代交流ピクニック
・抹茶・生花・押花・写生大会など



◇夏
・移動おもちゃ・絵本カー
・紙芝居・おはなし会
・香流川で魚やザリガニ釣り
・水・川・噴水イベント
・ハンモックやテントでのんびり

◇秋
・屋外でもこども図書館・読み聞かせ・自由に読める場所



◇冬
・こども美術館

子育て世代やこども向けのイベントができるといいな。移動式の図書館や読み聞かせ、遊び広場ができたら楽しそう。
大人向けにはコーヒーをゆっくり飲める場所になるといいな。
このエリアはとても魅力的なので、全ての長久手市民が訪れやすいように、交通を充実させてほしい！

4. まとめ

各グループの発表後、吉村さん（日本福祉大学教授）から、総括をいただきました。



ひとりでも小さいことからやれることはいっぱいあると思います。きっとやりたいと思っている人は周りにもいるはずなので、まずはやってみることで人が集まってくるのではないかと思います。
例えば、図書館でお泊り会したいというアイデアが出ましたが、みんなでテントを持ち寄ってみたり、図書館だけでなく公園や文化の家もつかってみたり、防災キャンプという建付けでやってみたり、、、いろいろと考えられると思います。
いろいろな人がつかうことで、もっとつかいやすくするにはどうしたらいいか、やりながら考えることが大事だと考えています。

【発行】
長久手市都市計画課
【TEL】
0561-56-0622
【E-mai】
keikaku@nagakute.aichi.jp

長久手市文化交流拠点の構想づくりに向けたワークショップ

NEWS LETTER

“より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考えてみませんか？”

８月２日（土）の午前、長久手市中央図書館で、より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアについて考える場としてワークショップを開催しました。当日は総勢11名にご参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！

DAY３テーマ　：　“すこし未来のこれからの場”を描こう！

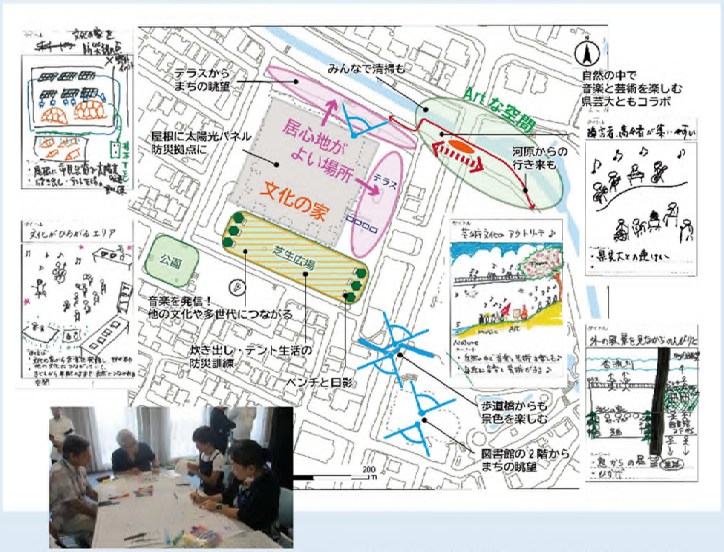
1. オープニング＆ふりかえり

第3回のオープニングは扇形での配席からスタート。オープニング、当日の流れを説明しました。その後、ニュースレターを見ながら、第１回、第２回のふりかえりを行いました。グループワークは、「文化の家」、「公園」、「図書館」グループを用意し、参加者がワークしたいグループを選んで着席する方式としました。



2. グループワーク

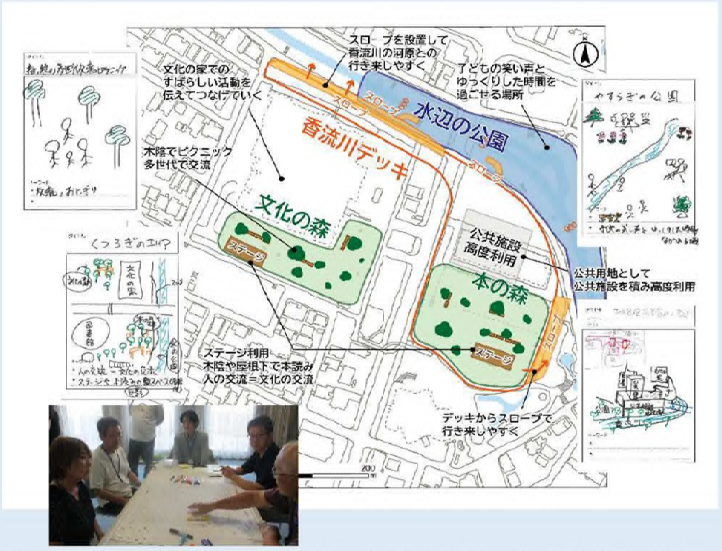
文化の家グループ　音楽・風景・防災



- 音楽や芸術によるにじみ出しがあり、エリアの文化振興と交流の拠点とする。
- 多世代が自然と繋がることができる施設とする。
- 窓からの景色を眺めながらのんびりすごせる施設とする。
- 障がい者、高齢者の方でも集まりやすい施設とする。
- 屋上に太陽光発電施設を設置する
- 炊き出しやテント生活の訓練を行う。



公園グループ　香流川デッキ



- 木陰や水辺の自然空間を活用して多世代が集まることができるピクニックを行う。
- 人工地盤で約3階のデッキで図書館から文化の家をつなぎ、香流川にもアクセスしやすい足場を設ける。
- 文化の家や図書館で行われているイベントを継続して行う。
- 下水処理場の上に公共施設を積む
- 子供が遊ぶことができる水辺を整備する



図書館グループ　丘の上のキラキラプラン



- エリア全体を長久手の星として位置付け、道路で分断されている「文化の家」「中央図書館」「桧ケ根公園」を「キラキラリング（円形の歩道）」で繋ぐ。
- 道路や歩道橋から見える位置にある図書館前の階段広場を「キラリおはなし広場」と名付けイベントを行う。
- リュックで持ち運びできる折り畳み式のイスを配布する。
- 不要な本を寄付できる本棚を設ける。
- イベントとしてお話会、紙芝居、人形劇などを行う。



3. エリアの将来像　～自分なら何ができる？～

各グループの発表後に、吉村さん（日本福祉大学教授）との対話を通じて、みなさんに「自分なら何ができる？」について、複数名の方に発表していただきました。

みなさんなら何ができる？

イベントで物販・飲食等のショップを出店できるとより楽しい場所になると思っています。また演劇関係者の知り合いも多くいるため、そのような方々をイベントにつなげる、プロデューサーのような立ち回りならできるかも…と思います。





不要になった本（どのよな本でもOK）を寄付していただき、自由に読むことができる「みんなの市民図書館」を企画してみたいと思います。



市職員も・・・



ファッションが好きで、多くの服持っています。若い子にとっては新鮮なものもあると思うので、服の物々交換をきっかけとした世代間交流してみたいと思います。



4. まとめ

全3回を通じた総括を、最後に吉村さんからいただきました。



公共空間を変えるには、みなさんが自分事として捉え、それぞれがやれることを考えることが大切だと思います。一人では、難しいと思うことでも、仲間を集めたり、コラボレーションを考えてみるなど、様々な関わり方の工夫ができると思います。

また、大きなことに挑戦するのは難しいですが、小さいことから始め、活動に協力してくれる仲間を集めましょう。そして、みなさん一人ひとりが、やりたいことや得意なことを活かして、みんなで公共空間を使っていくことが大切です。今回のWSを通して、公共空間を使うプレイヤーに挑戦してみようという方がいると期待しています。



【発行】
長久手市都市計画課
【TEL】
0561-56-0622
【E-mail】
keikaku@nagakute.aichi.jp

（２）施設利用者アンケート

前述の市民ワークショップ「より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園について考えてみませんか？」において、“すこし未来のこのエリア”で、“やってみたい”、“過ごしてみたい”シーンに関する参加者のアイデアを整理すると、主に8つのシーンが見えてきました。

これらを踏まえ、長久手市文化の家及び長久手市中央図書館の利用者が共感する“すこし未来のこのエリア”で、“やってみたい”、“過ごしてみたい”シーンを把握することを目的として、施設利用者アンケートを実施しました。

■アンケートタイトル

“すこし未来の”文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアで“やってみたい”、“過ごしてみたい”シーンを教えてください！

■実施概要

方法	期間	回答件数
①長久手市中央図書館内でアンケートボ―ドを掲示し、シールにて回答を回収	令和７年１０月８日（水） ～１０月１６日（木）	４０２件
②文化の家野外劇場 vol.２宵祭『KONTON』会場内で掲示し、シールにて回答を回収	令和７年１０月１８日（火）	２４０件
③ＷＥＢ	令和７年１０月９日（木） ～１０月２１日（火）	６件





長久手市 Nagakute City

“すこし未来の”文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアで、“やってみたい”、“過ごしてみたい”シーン を教えてください！

＼結果報告／
ご協力ありがとうございました！

長久手市では、「より魅力的な、文化の家・中央図書館・桧ケ根公園について考えてみませんか？」をテーマに、令和７年７月～８月にワークショップを３回開催しました。

ワークショップでは、**“すこし未来のこのエリア”で、“やってみたい”、“過ごしてみたい”シーン**について、参加者の皆様から多くのアイデアをいただきました。その内容を整理すると、主に以下の８つのシーンが見えてきました。

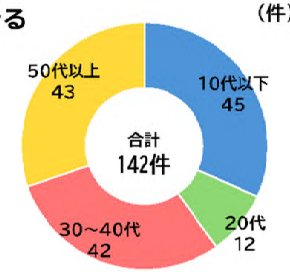
さらに、普段からこのエリアを利用されている皆様にも“すこし未来のこのエリア”で、“やってみたい”、“過ごしてみたい”シーンについて、**共感できるものをより広く把握するため**に、アンケートを実施しましたので、その結果をご報告いたします。また、結果については、今後の事業や本エリアの構想等に反映を予定しています。

アンケート実施概要
①中央図書館館内で掲示
期間：10/8～10/16　回答件数：402件（その他含む）
②文化の家野外劇場vol.２宵祭『KONTON』会場内で掲示
期間：10/18　回答件数：240件
③ＷＥＢ
期間：10/9～10/21　回答件数：6件

問 文化の家・中央図書館・桧ケ根公園エリアで**こんなことができたら「嬉しい！」と思うこと**は何ですか？（以下の８つの選択肢から２つまで選択）

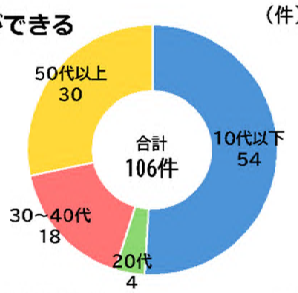
用事がなくても憩い・くつろぐことができる





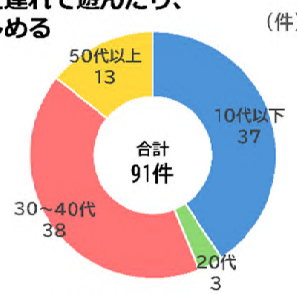
静かに勉強や仕事（テレワーク等）ができる





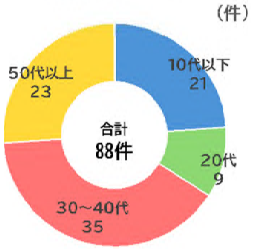
こども（孫）を連れて遊んだり、学んだり、楽しめる





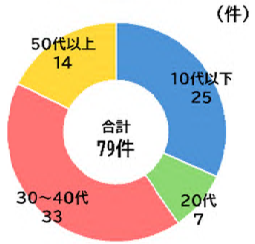
交流の場として自由な使い方（イベント等）ができる





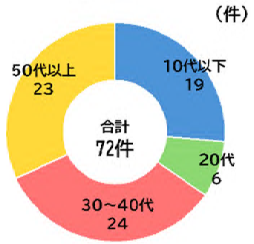
自由に音楽や演劇の発表や鑑賞を楽しめる





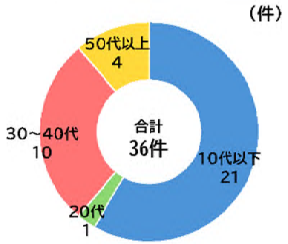
余暇や趣味を楽しめる





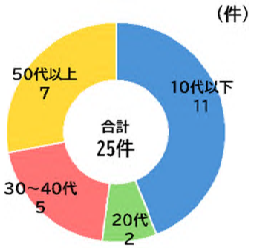
市民が制作した作品の展示を楽しめる





文化や本を通じ、世代を超えて交流できる





その他の意見

ストリートピアノ
時間指定アリが
良いかも
例：15～16時
火・金のみ　等
（10件）



桧ケ根公園で野外ヨガをしてみたい！長久手市の歴史をめぐるウォーキング会もいいな！

フリーマーケットがやりたいです

文化の家が完成したら、調理教室を定期的にやってほしい
（2件）

昔やっていた演劇のワークショップ
またやってほしい

読書会

関係ないかもしれませんが、皆が（特に老人）行きやすいようにバスの便が良くなると助かります。